

後期基本計画 令和 2年度 政策方針評価書

政 策： 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

1. 政策の令和 2年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	目指す姿は「競争力・市場性のある産業と、安定した雇用・定住・後継者育成が循環的に発展するまち」です。各産業分野と労働力が、また滝沢市の特性や地域資源を活用しながら、交流人口、異業種連携、付加価値などによりバランスよく発展するとともに、市民や地域が潤っている状況です。	
--	---	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分の仕事に満足している人の割合 単位 %	55.1	57 53.4	58 52.3	60 -	61 -	61 -	D △47.5
2	幸福 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	36.3	40 36.6	43 36.3	47 -	50 -	50 -	C 0.0
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	47.1	43.9 48.7	46 48.9	48 -	50 -	50 -	B 62.1
2	幸福 03010000 地域の潤いにつながる観光資源の発信 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	76 69.1	77 68.1	78 -	80 -	80 -	D △10.2
3	暮らし 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 法人事業所数 単位 所以上	949	956 967	956 989	956 -	956 -	956 -	A 571.4
4	幸福 03020000 ICT関連企業集積と産学官連携の推進 身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じている人の割合 単位 %	34.6	39 36.6	43 36.3	46 -	50 -	50 -	C 11.0
5	暮らし 03030000 農林業の振興と担い手の支援 農業後継者（販売農家）の有無の割合 単位 %以上	58.6	58.6 58.6	58.6 37.6	58.6 -	58.6 -	58.6 -	D 0.0
6	幸福 03030000 農林業の振興と担い手の支援 身に着けた知識や技術を仕事や趣味の場で生かせる機会があると感じる人の割合 単位 %	34.6	39 36.6	43 36.3	46 -	50 -	50 -	C 11.0

後期基本計画 令和 2年度 政策方針評価書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

担当部長職・氏名	経済産業部長 長内 司善
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての令和 2年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により活動が制限される中、地域おこし協力隊員による物産販売やPR動画等により情報発信の取り組みを実施しました。 ・イノベーションセンター・同パークには、今後本市の産業の核のひとつとなる企業が集積しつつあり、パークには1社の社屋増築が完成しており、また新たに1区画の売買契約が成立しています。 ・第1次産業については、「人・農地プラン」を基に地域との話し合いによりプランの実質化や農地集積が推進されました。農業分野や市内小規模企業などでは、労働力不足や後継者不足などによる事業承継等に不安がある状況です。一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、都市から地方への移住に対して関心が高まっています。この状況を踏まえて関係機関と連携し新規就農や事業承継など支援してまいりました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題の達成（実現）状況

C	一部達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の潤いにつながる観光資源の発信 ・ICT関連企業集積と産学官連携の推進 ・農林業の振興と担い手支援 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてイベントの延期や中止を余儀なくされ、情報発信する機会が例年より少ない状況にありました。 ・イノベーションパークに1社の社屋増築が完成し、その他1区画の売買契約が成立しました。 ・「人・農地プラン」に基づく農地集積や日本型直接支払を推進し、持続可能な農業経営体の育成を図りました。 	

3. 政策の実現に向けて令和 2年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な食料の流通に係る価格競争 ・日本をはじめ世界各国で新型コロナウイルス感染症の発症による新たな仕組みづくり ・テレワークやリモートによる会議など、ICT関連の今後の成長と影響 ・新型コロナウイルス感染症の世界的流行による、インバウンドの減少 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、会議や講演会、イベントの中止や延期 ・岩手県や広域市町等との連携や情報共有の強化 ・「新たな生活様式」への対応 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 4年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <p>滝沢市産業振興条例の施行により、市民、事業者、産業支援団体及び行政が連携協力し、市内産業基盤の安定と強化、地域経済の発展が図られるよう取組みを進めます。</p> <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県立大学や市内既存企業と滝沢市IPUイノベーションパーク内の企業が連携を構築する体制の強化が必要です。 ・「人・農地プラン」の実質化や地域の担い手の育成、森林環境譲与税を活用した民有林の計画的整備が必要です。 ・新たな観光物産の創出に取組む個人や団体、事業者を支援する必要があります。 ・ふるさと納税のPR強化を行い、市内事業者を支援する必要があります。 	

